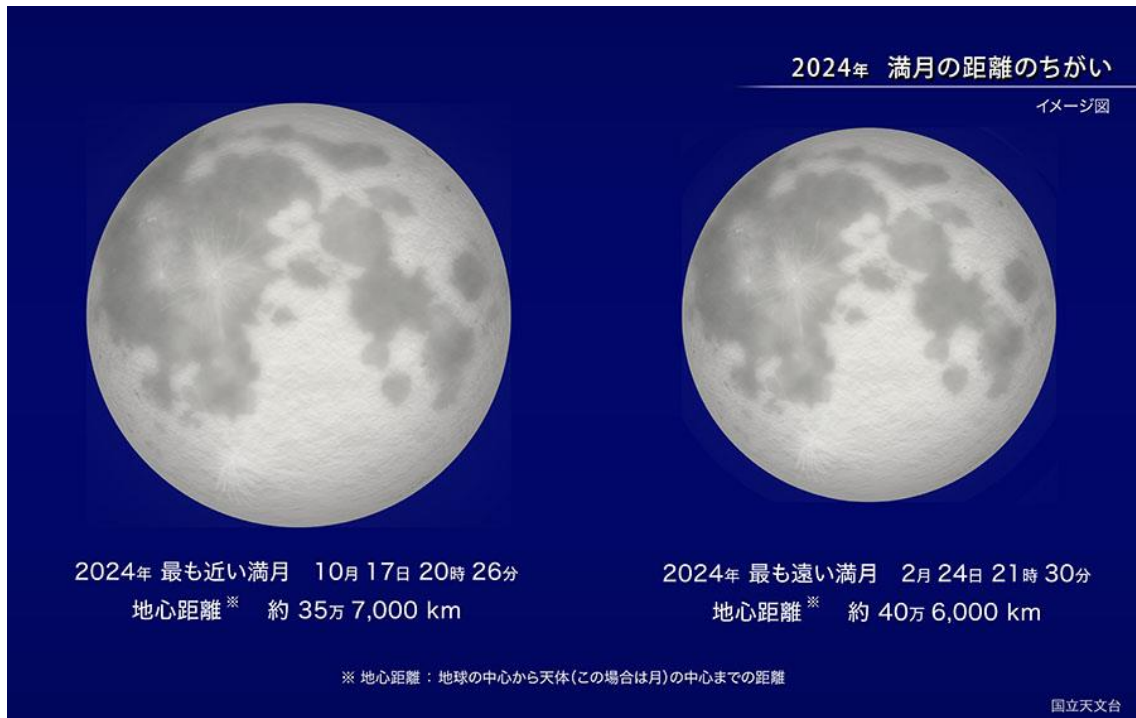


2月うぶやま天文台天文情報③

今年最小のミニマムムーンを見よう



2月の星空情報第3弾は、2月24日（土）の今年最小のミニマムムーンの満月です。18時過ぎに東の空から昇ってくる満月は、今年最小のミニマムムーンです。最小の理由は地球との距離が最も遠いからです。2024年10月17日のスーパームーンと比較すると、スーパームーンは35万7千 km、ミニマムムーンは40万6千 km で、大きさはスーパームーンに比べてミニマムムーンは12%小さく、明るさは22%も暗くなります。比較する対象がないので分かりにくいのですが、満月を見慣れた人なら幾分か小さく、少し暗いのが分かると思います。天文台で満月を見ることは中秋の名月の時くらいで、普段はあまりないので、この機会にぜひご覧ください。



ミニマムムーンとスーパームーンの地球との距離の違い

※地球から遠い満月、近い満月はなぜ起きる？

地球の周りを公転する月の軌道は楕円形をしているため、地球と月の距離は一定ではありません。さらに、月の軌道は太陽や地球のなどの重力を受けて変化しています。そのため、満月や新月の時の距離は、図のように毎回異なります。

